

基本的方向 施策方針 個別目標 等	具体的施策 基本的施策 実施事業 等	基本目標・重要業績評価指標（KPI）						理由等	
		指標名	基準値	基準年度	平成27年度	平成28年度	目標値		目標年度
					実績値	実績値			

基本目標 I ひとを大事にし、郷に生きる人間力を育む

1	数値目標	若い世代の結婚・子育ての希望の実現	合計特殊出生率	1.63	21～25平均		1.609%	1.67	32	※最終目標は37年度（1.80）	
2		健康寿命	健康寿命大分県一				男性10位 女性8位	2位	31	※最終目標は36年度（県内1位）	
3	(1) 結婚から子育てまで切れ目のないきめ細かい支援	①結婚活動の支援	男性未婚率（25～49歳）	41.4%	22	42.5%	-	県と同水準	32	※H22大分県平均37.3% ※H27大分県平均37.2%	
4		②保育サービスの充実	病児保育施設利用者数	12人	26	27人	13人	1061人	31	・11時間を超えた延長保育事業利用述べ児童数651名 ・病児保育事業登録児童数 164名 利用児童数 13名	
5		③地域ぐるみで子育て一番宣言	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合	就学前	65.0%	25	65.7%	-	75.0%	31	・平成28年度 直入こども園開設 ・子育て支援事業 出張ひろば 開設
6		④子育てと仕事の両立支援		就学後	72.6%	25	85.7%	-			・児童クラブと子ども教室の一体的提供 ・28年度一体的提供(学校内)2カ所
7		父親と母親の子育てに関する役割分担は同等と感じる人の割合		就学前母	48.4%	25	22.6%	-	60.0%	31	・「竹田っすこやか広場」において「プレママ・プレパパ」スクールの実施(H28 7名)
8				就学前父	50.5%	25	20.7%	-			・子育て応援券交付 87冊(協力企業53社)
9				就学児母	55.6%	25	13.3%	-			・子育て支援員、放課後児童クラブ支援員等人材育成
10				就学児父	46.5%	25	21.4%	-			
11	(2) 夢に向かって挑戦する子どもの育成	①竹田郷土学の紐とき事業	児童生徒の学力（全国学力状況調査、国・算・数のA知識・B活用の正答率合計：全国比）	小学校	+13.7	26	+3.8	-5.6	+16.7		
12		②竹田市教育のまちTOP<SUN3>運動の推進と実践		中学校	+14.4	26	+4.0	+15.4	+17.4		
13		③地域とともにある学校づくり									
14	(3) 誰もが安心して暮らせる地域医療体制の確立	①安心して子育て（妊娠・出産）できる環境づくり	居住地域における子育て環境や支援に対し満足している人の割合（保護者調査）	就学前	27.9%	25	-	-	50.0%	31	
15		②地域医療体制の整備・充実		就学児	29.1%	25	-	-			
16				地域医療体制の整備・充実（地域医療を担う新たな医師の確保）	0	26	0	1	1	31	H28.4耳鼻咽喉科新規開業
17	(4) 健康一直線～市民総参加で健康寿命を延ばすまちづくり	①健康づくり組織の育成と支援	特定健診受診率(国保)	48.6%	26	50.7%	-	60.0%	31	翌年度秋に確定	
18		②健康増進と予防活動の充実	健康寿命の延伸	男性	79.03歳	23	78.53歳	-	80.15歳	31	23～27年数値で算出
19		③スポーツ・レクリエーション活動の充実		女性	83.04歳	23	83.65歳	-	84.07歳	31	23～27年数値で算出
20	(5) 安心と充実のシニアライフの支援	①元気な高齢者の活躍の場づくり	介護認定を受けていない高齢者割合	77.6%	26	79.8%	80.8%	80.0%	31		
21		②高齢者が自立した生活を継続できる地域づくり	サロン(おしゃべり・生きがい系)の数	158か所	26	-	156か所	170か所	31	おしゃべりサロン131 生きがい系サロン25	
22			高齢者安心ネットワークの登録者数	61人	26	126人	169人	300人	31		

基本的方向 施策方針 個別目標 等	具体的施策 基本的施策 実施事業 等	基本目標・重要業績評価指標 (KPI)						理由等	
		指標名	基準値	基準年度	平成27年度		平成28年度		
					実績値	実績値	目標値		目標年度

基本目標Ⅱ 技の集積と地域経営力を高め、しごとを創出する

23	数値目標	就業人口	就業人口の確保	12,420人	22	11,424人	-	9,000人	32	H22基礎数値から戦略未実施の場合の推計H32、8,450人
24	(1) 竹田クリエイティブ・シティ構想の実践(新産業創出)	①「創造的人材」の集積・拠点整備	起業・創業人数	1人	26	6人	※16人	55人	31	補助事業を活用して起業した人数(※累計人数)
25		②TSG「竹田総合学院」構想の実践								
26		③民間や大学との連携による起業・創業の推進								
27	(2) 地域特性にあった企業の育成・集積	①ヘルスケア産業の創出と振興	誘致企業数	1社	26	0	0	10社	31	
28		②地域資源を活かした産業振興	空き店舗の利活用	2件	26	2件	※4件	10件	31	※累計件数 H27.スローライフカフェ(城下町) H27.豊洲酒販(城下町) H28.英会話教室(玉来) H28.ペーカリーカフェ(城下町)
29		③商工業の活性化								
30	(3) 農林畜産業の振興による竹田ブランドの確立	①新規就農者の育成支援	農業の付加価値額全国順位	43位	24	-	51位	35位	31	阿蘇山の噴火等風評被害?
31		②企業との連携	新規・親元就農者	95人	26	23人	※49人	100	31	※累計人数 H28実績 県単補助 5人 市単補助13人 内訳 就農地域(竹田4人・荻7人・久住5人・直入2人) 野菜12人 畜産6人(市単補助対象家族を含め39名)
32		③農商工連携によるブランド化の推進								
33	(4) 若者や女性、高齢者の雇用機会の創出	①若者の就労支援	この戦略で高性能機械を導入した支援企業の売上伸び率	0	26	-	11.8%	5.0%	31	H27食品産業地域連携事業(2件) H28地方創生加速化交付金(1件) ※28年事業については機械導入後1年見経過
34		②ライフスタイルに柔軟に対応した労働環境の整備								

基本目標Ⅲ 地域力を輝かせて農村回帰の流れを加速させる

35	数値目標	移住者数	移住者施策を活用した移住者数			13世帯	14世帯	100世帯	31	※2カ年の27世帯の移住者数 61名
36	(1) 若い世代(子育て世代)の定住促進	①子育てしやすい住環境の整備	住宅分譲地の整備	0	26	-	-	45区画	31	
37		②竹田の良さを活かした魅力的な宅地分譲の促進	移住世帯	0	26	-	-	20世帯	31	
38	(2) 農村回帰の推進	①農村回帰支援体制の充実	空き家バンクへの登録者数	629人	22~26	108人	※227人	650人	31	※累計人数
39		②既存ストック(空き家等)の有効活用	空き家バンクへの登録件数	25件	22~26	19件	※30件	100件	31	※累計件数
40		③移住定住を促進させる情報発信の強化								
41	(3) 温泉資源活用による新たな観光戦略と滞在型観光交流の促進	①湯治文化を活かした保養温泉地づくり	観光客数	337万人	26	339万人	270万人	350万人	31	熊本・大分地震の影響
42		②地域ここのニーズを捉えた多様なツーリズムによる交流機会の創出	観光客数のうち宿泊客の占める割合	8.60%	22~26	7.45%	8.08%	2ポイントアップ	31	国道57号及び豊肥線不通の影響大
43		③インバウンド(海外誘客)への対応								
44	(4) 竹田ブランドを高める情報戦略	①魅力的な情報コンテンツづくり	ふるさと納税件数	30件	26	833	1,226件	1,000件	31	H27寄付額24,706,365円 H28寄付額34,874,000円
45			竹田に興味を持った人の数(市HPアクセス数)	517,425件	26	485,551件	501,761件	550,000件	31	基準年割れ

